

＜福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ＞  
(5月10日 午後3時現在)

平成23年5月10日  
東京電力株式会社  
福島第一原子力発電所

福島第一原子力発電所は全号機（1～6号機）停止しています。

**1号機（停止中）**

- ・ 3月12日午後3時36分頃、直下型の大きな揺れが発生し、1号機付近で大きな音があり白煙が発生しました。水素爆発を起こした可能性が考えられます。
- ・ 3月23日午前2時30分頃、給水系から原子炉への海水注入を開始しました。
- ・ 3月25日午後3時37分より原子炉への淡水の注入を開始し、現在は外部電源から受電した電動ポンプで淡水の注入を行っています。
- ・ 原子炉格納容器内に水素ガスが蓄積している可能性があることから、酸素濃度の上昇を防止する観点より、4月6日午後10時30分より格納容器内に窒素ガスの注入に関わる弁操作を開始し、4月7日午前1時31分より、注入を開始しました。
- ・ 5月6日午前10時1分、燃料域上部まで原子炉格納容器を水で満たすため、原子炉への淡水の注水量を約6m<sup>3</sup>/時から約8m<sup>3</sup>/時に変更しました。

**2号機（停止中）**

- ・ 3月15日午前6時頃に圧力抑制室付近で異音が発生、同室の圧力が低下。
- ・ 3月26日午前10時10分より原子炉への淡水の注入を開始し、現在は外部電源から受電した電動ポンプで淡水の注入を行っています。

**3号機（停止中）**

- ・ 3月14日午前11時1分頃、1号機同様大きな音とともに白煙が発生したことから、水素爆発を起こした可能性が考えられます。
- ・ 3月25日午後6時2分より原子炉への淡水の注入を開始し、現在は外部電源から受電した電動ポンプで淡水の注入を行っています。

**4号機（定期検査で停止中）**

- ・ 3月15日午前6時頃、大きな音が発生し、原子炉建屋5階屋根付近に損傷を確認。
- ・ 現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏えいはいないものと考えています。

**5号機（定期検査で停止中）**

- ・ 安全上の問題がない原子炉水位を確保しております。
- ・ 3月19日午前5時、残留熱除去系ポンプを起動し、使用済燃料プールの冷却を開始しました。
- ・ 3月20日午後2時30分、原子炉は冷温停止状態となりました。

- ・ 現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏えいはないものと考えています。

#### 6号機（定期検査で停止中）

- ・ 安全上の問題がない原子炉水位を確保しています。
- ・ 3月19日午後10時14分、残留熱除去系ポンプを起動し、使用済燃料プールの冷却を開始しました。
- ・ 3月20日午後7時27分、原子炉は冷温停止状態となりました。
- ・ 現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏えいはないものと考えています。

#### 使用済燃料プールの冷却作業

- ・ 5月9日午後4時5分から午後7時5分まで、コンクリートポンプ車による4号機への放水を行いました。また、午後4時11分から午後6時38分まで、ヒドラジン（腐食防止剤）を注入しました。
- ・ 5月10日午後1時9分から午後2時45分まで、仮設の電動ポンプによる2号機への注水を行いました。また、午後1時19分から午後2時35分まで、ヒドラジン（腐食防止剤）を注入しました。
- ・ 今後とも使用済燃料プールの状況を確認しながら、必要に応じて放水・注水を実施したいと考えています。

#### その他

- ・ 2号機タービン建屋立坑から集中廃棄物処理施設への高いレベルの放射性廃液の移送につきましては、3号機タービン建屋内からの移送配管布設のため、5月10日午前9時1分、移送を一時中断しました。
- ・ 3号機の原子炉への注水を給水系配管から行う工事の準備のため、5月8日午後4時18分から5月10日午前5時41分までタービン建屋の復水器からの水抜きを実施しました。
- ・ 5月2日より1号機原子炉建屋作業環境改善のため、局所排風機設置に係る作業を開始し、5月5日午後4時36分に、局所排風機の全台運転（計6台）を開始していましたが、5月8日午後8時2分に運転を停止し、午後8時8分に1号機の二重扉を貫通しているダクトを取り外し、一部を開放しました。さらに、5月9日午前4時17分、二重扉を全開放しました。また、午前4時30分、原子炉建屋の大物搬入口脇の扉を開放しました。  
なお、空間線量率の測定結果を確認し、外部への放射能の影響がなかったことを確認しております。
- ・ 5月9日午後2時から午後5時まで、6号機タービン建屋内から仮設タンクへ溜まり水の移送を行いました。また、5月10日午前10時から、移送を再開しました。
- ・ 安全の確保に向け全力を尽くしてまいるとともに、引き続き周辺環境のモニタリングを継続・監視してまいります。

以 上